

令和元年度 事務事業総点検シート(1)

[令和元年度事務事業(新規)]

一般会計		事務事業分類			新規
事務事業名	諏訪森神野線(浜寺地区)			シート番号	D 建設・整備事業
担当部署名	建設	局	道路	部	道路計画
				課	評価責任者(課長名)
					根兵

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成	有
	2	事業開始年度	令和 — 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	都市計画法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	都市計画道路諏訪森神野線は、(都)下石津泉ヶ丘線、(都)常磐浜寺線を補完する路線であり、本事業区間は、南海本線連続立体交差事業と一体的な整備を行うことにより、主要幹線道路との連携による道路のネットワーク機能が向上し、円滑な交通の確保、交通事故の抑制などが見込める。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体			
			<input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	道路利用者、災害時における避難者・被災者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	主要幹線道路との連携による道路ネットワークの形成により、下石津泉ヶ丘線、常磐浜寺線をはじめとする主要道路の慢性的な渋滞を緩和するとともに、物流の効率化や商業立地を促進するもの。また、津波避難対象地域における避難路の役割を担う路線であるため、地域の防災性向上に寄与する。			
9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	都市計画: 昭和21年5月22日 決定 事業期間: 事業認可取得後～令和10年3月31日 予定 事業区間: 西区浜寺船尾町西1丁～西区浜寺諏訪森町西1丁 事業延長: L=600m 計画幅員: W=18m 車線数 : 2車線 令和元年度は、早期事業認可取得に向け、道路予備設計を行う。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他()				
		業務の受注者				

Ⅲ. 投入量

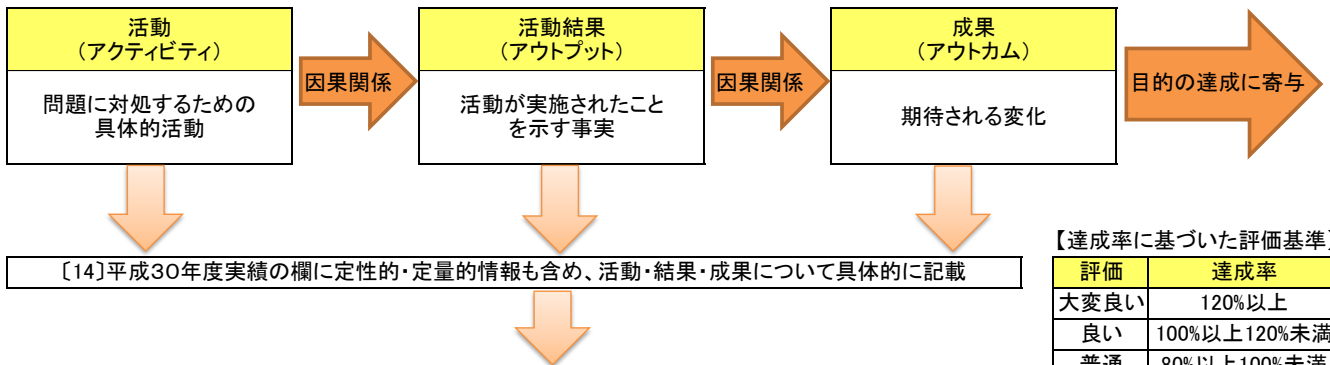
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11	事業費 (a)	千円	0	0	0	4,415
	主な事業費内訳	委託料	千円				4,415
			千円				
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
		一般財源	千円				4,415
	12	人件費 (b)	千円	0	0	0	6,245
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	0	0	10,660	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	諏訪森神野線(浜寺地区)	シート番号	19-99
--------------	--------------	--------------	-------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動内容や成果

平成30年度実績						
14						
	15	目標				
	道路予備設計の実施。 事業認可の取得。					
	目標に対する実績					
16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		目標値				
		実績値				
		達成率				
	評価					
	算出方法・設定根拠など					

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。